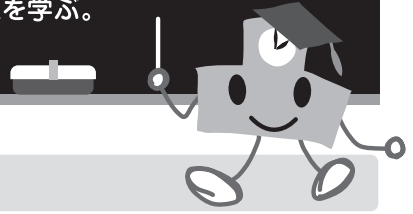


様々な資源物の回収を行うため、生徒会だよりの号外を作成し、回収方法や目的、注意点、回収後の流れを分かりやすく紹介。目標達成のために、新たな発想から工夫し実践することを学ぶ。



内容 効果的な回収をめざし 積極的に啓発

本校では10年以上前から資源物回収の一つとしてリングブル回収を行ってきた。平成17年度からは「豊平区生徒会サミット」に参加し、福祉施設に車いすを贈ることを目的として、豊平区の小中学校などと共同で回収を行っている。

リングブル回収の他、本校では紙・古紙の回収やペットボトルキャップの回収も行っており、今年からは使用済みプリペイドカードの回収などにも取り組んでいる。

回収成果をあげるため、本校では3年前から、毎月5日と20日は「地球の日」と定めて活動している。給食時間に校内放送で告知するほか、生徒会の環境係が作成する、生徒会便りの号外「We LOVEちきゅう」を発行して、資源物回収の呼びかけを行っている。

「We LOVEちきゅう」では、資源物の回収方法、目的、注意点、回収後の流れについて、イラストを入れる

などの工夫をしてわかりやすく紹介するとともに、活動内容が実際にどのように環境や人々のために役立っているのかを記載している。例えば紙の回収の場合、紙は木から作られていること、今、地球温暖化の原因の一つとして森林の減少があげられていることをあげ、無駄な紙を使用せず積極的に再利用しよう、と呼びかけている。

学校祭のときは、地域の方からの収集を呼びかけるために「We LOVEちきゅう」を町内会の回覧板で回している。学校祭に足を運んでもらう際にあわせて資源物を持参してもらうなど、収集の協力をお願いしている。

活動の成果については、回収後に各学級の回収量の棒グラフを作成し、教室内に掲示。各学級が目標回収量達成に向けて意識を高めていけるよう促している。

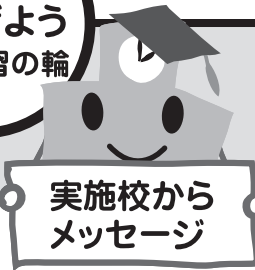
効果 工夫をこらし 無理のないやり方で継続実践

リングブルの回収は地元の小学校も取り組んでおり、商店や病院、スーパーなどに回収ボックスを設置している。そこで本校では、飲み物を飲むことが多い場所であることに着目し、「銭湯」に回収ボックスを設置した。このように、資源物回収の活動をとおし、生徒は様々な発想から工夫し実践することを学んでいる。



生徒会だよりを掲示

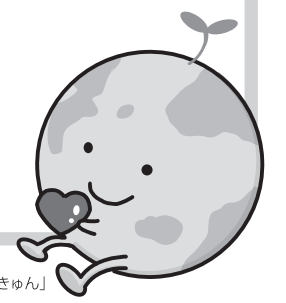
広げよう
つなげよう
環境学習の輪



「環境」に取り組む場合、長い期間でなければ結果が見えないが、まずは自分たちでできることから実行していくことが大切だと考えている。あれこれ手をつけるだけにならないよう、見通しをもって、無理なく続けていける活動を目標に取り組んでいきたい。

実施校から
メッセージ

MEMO



未来の札幌を見つめる【環境】
イメージキャラクター「ちっせゅん」